

2022.09.18. 迫害される時

第一ペテロ 2章 4～25節

JD ファラグ牧師

「第一ペテロの手紙2章」です。御心なら、今日は2章を学び終えます。先週、1章を終えました。で、2章は1章の後に来ます。素晴らしいスタートでしょう？ では、ご起立ください。でも座ったままでも結構です。特に、4節から25節までと長いのですから。皆さん次第です。ご起立できるなら、立って私が読むのについてきてください。ちなみに、御言葉を読むときに立つのは、旧約聖書の「エズラ記」に由来しています。ご存知ないなら、念のため言っておきます。なぜ御言葉を読むときに立つのかと、疑問に思っている方のため、お伝えしておきます。それを聞いたら、座れませんか？ -(笑)- OK。では、使徒ペテロは、4節から、聖霊によってこう書いています。

—I ペテロ 2:4—

主（イエス）のもとに来なさい。主は、人には捨てられたが神には選ばれた、尊い生ける石です。

—I ペテロ 2:5—

あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる聖なる祭司となります。

—I ペテロ 2:6—

聖書にこう書いてあるからです。「見よ、わたしはシオンに、選ばれた石、尊い要石を据える。この方に信頼する者は決して失望させられることがない。」

—I ペテロ 2:7—

したがってこの石は、信じているあなたがたには尊いものですが、信じていない人々にとっては、「家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった」のであり、

—I ペテロ 2:8—

それは「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らがつまずくのは、みことばに従わないからであり、また、そうなるように定められていたのです。

—I ペテロ 2:9—

しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉をあなたがたが告げ知らせるためです。

—I ペテロ 2:10—

あなたがたは以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、あわれみを受けたことがなかったのに、今はあわれみを受けています。

—I ペテロ 2:11—

愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは”旅人、寄留者”なのですから、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。

—I ペテロ 2:12—

異邦人の中であって立派にふるまいなさい。そうすれば、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの立派な行いを目にして、神の訪れの日に神をあがめるようになります。

—I ペテロ 2:13—

人が立てたすべての制度に、主のゆえに従いなさい。それが主権者である王であっても、

—I ペテロ 2:14—

あるいは、悪を行う者を罰して善を行う者をほめるために、王から遣わされた総督であっても、従いなさい。

—I ペテロ 2:15—

善を行って、愚かな者たちの無知な発言を封じることは、神のみこころだからです。

—I ペテロ 2:16—

自由な者として、しかもその自由を悪の言い訳にせず、神のしもべとして従いなさい。

—I ペテロ 2:17—

すべての人を敬い、兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を敬いなさい。

—I ペテロ 2:18—

しもべたちよ、敬意を込めて主人に従いなさい。善良で優しい主人だけでなく、意地悪な主人にも従いなさい。

—I ペテロ 2:19—

もしだれかが不当な苦しみを受けながら、神の御前における良心のゆえに悲しみに耐えるなら、それは神に喜ばれることです。

—I ペテロ 2:20—

罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

—I ペテロ 2:21—

このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受けその足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された。

—I ペテロ 2:22—

キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。

—I ペテロ 2:23—

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

—I ペテロ 2:24—

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

—I ペテロ 2:25—

あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

すごい！ もう説明不要ですね。祈って終わってもよいくらいです。祈りましょう。御父よ、わお～わお～わお～ 主よ、使徒ペテロへ、この御言葉を書くよう導いてくださったことに心から感謝します。当時の兄弟姉妹のように、今の私たちにとっても、とても適切な御言葉です。なんという励まし、なんという慰めでしょうか。主よ、感謝します。主よ、この箇所を学び進めるにあたり、聖霊が私たちの目を開いてくださり、あなただけが御出来になる通り、あなたが、私たちに示されたいことを理解するようにしてく

ださいますように。主よ、あなたが私たちに語られたいことに聞く耳を持ち、受け入れる心を持ち、あなたの御言葉を心に留められますように。特に、それを経験している人たちが。

主よ、それがこのことが聖書に書かれている理由です。戦いに疲れた信者のためです。主よ、私たちの心を励まし、力づけてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日、私がお話ししたいのは「迫害・迫害される時」特に、「迫害に直面したときの私たちのあり方」「迫害に対しての生き方」についてです。お話ししたいと思います。その理由は、ペテロがこれを書いた時、当時の信者は、控えめに言っても、極度の迫害に苦しんでいたからです。以前にもお話しましたので、詳細は省きます。しかし、カエサル・ネロのもとで、クリスチャンが経験していたことは、想像を絶するものでした。極度の迫害でした。聖書のこの章の箇所にはこれがあるのは、現代の私たちが、迫害の苦しみに直面する時どうしても思い起こさねばならない5つのことが記されています。迫害に直面している私たちは何者なのか、キリストにあって私たちは何者なのか。そして次に、迫害に対しての、5つの生き方です。そして、それがとても美しく、完璧にここに記されています。もちろん、神の御言葉は完璧です。しかし、ペテロがこれを書くよう導かれた方法があまりにも完璧なのです。当時の彼ら同様に、今経験している私たち自身のためなのです。クリスチャンとして気づいていないなら、私たちは、自分の家ではないこの世で歓迎されず長居をし過ぎています。このことにお気づきですか？（会衆：アーメン）

では、4節と5節の最初のものから見ていきましょう。「あなたがたは神に選ばれた」戦いの真っ只中にいると忘れてしまうので、なんと必要な思い起こしでしょうか。「ちょっと待って。私は人には拒絶されているけれど、神に選ばれている。」もう一度やります。「私は人には拒絶され、人に迫害されている。でも、神に選ばれた者なんだぜ。」このことが全てを変えますよね？ さらに踏み込んで言えば、「私は神に選ばれたから、人に拒絶される。」聞いてください。この節は、私たちが話したくない節であり、牧師も説教したがる節です。どの節のことを言っているか、分かります？

キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を”受けます。” **(II テモテ 3:12)**

”受けます”じゃなかったらいいのに。そうじゃなく、こんな風に書かれていればいいのに。「キリスト・イエスに敬虔に生きよう願う者は偶然もしかして、迫害に遭うようなことが、あるかもしれない。」いいえ！「あなたは迫害にあいます。」実際、あなたが、キリストに生きる敬虔さに比例して、迫害はやってくるのです。そう、あなたが、イエスと結びついているからこそ、人から拒絶されるのです。あなたは神に選ばれています。あなたは神の御名で召されています。イエスは、実際仰っています。

「あなたが個人的に考えないでください。彼らは、あなたの勇気を嫌っているでしょう？ ちなみに、わたしは、あなたの勇気が大好きです。しかし、彼らはあなたの勇気嫌います。」「そう、彼らは私を嫌っています。」「それはあなたではなく、わたしののです。彼らがあなたを嫌うのは、わたしが故です。彼らは、わたしのためにあなたを迫害します。」（以上マタイ5章参照）

用心すべきは、皆があなたのことをよく言う時です。世の流れに乗り、問題な〜い！ あなたは大丈夫！しかし、その世の流れに逆らったとたん...それだけで、、今朝、考えていたのですが、これは興味深いです。皆さん私の言うことがよく分かるはずです。あなたが誰かと会話しているとき、救われるために人間に与えられた唯一の御名、イエスのお名前を口にすることで、全ての様相が一変します。例えば、私は20代の頃、歩合制の営業をしてました。お客様に自分の名前を覚えてもらい、名前を呼んでもらうことが、収入増につながりました。で、問題は、私の名が、Wahid Fayez Farag/ワヒド・ファイエズ・ファラグで

あることです。覚えてもらうどころか、発音すらしてもらえません。そこで私は、雇い主から、大変良いアドバイスをもらいました。

「ニックネームを使った方がいいと思うんだけど、それについて考えたことはあるかい？」それで、私は新米の信者だったので、イエスを人々に伝える機会を持てるようなニックネームをつけようと思ったんです。それで思いついたのが、「J.D.=イエスの弟子」です。私は準備 OK です。そうなんです。いや、待って、もっと良くなりますから。ここで私にバイヤーがいて、彼らが私の名刺を見ると、Wahid/ワヒド、カッコして J.D. フラグと書いてあります。バイヤーはそれを見て、

「J.D. って、どういう意味？ J.D. は何の略？ ジャック・ダニエル？ はっはっはっはっは。」いや～それって....さあきますよ～！！ —(笑)—

私は福音を恥としません。(ローマ 1:16)

彼らの顔を見ると、あっけにとられています。「いいえ、ジャック・ダニエルではありません。イエスの弟子の略です。」「おおお。。。。」そして、大体こんな感じで続きます。「私のフランス語を許してください。」皆さん、聞いてください。フランス語ではありません。言っておきますが違います。突然、すべてが変わります。なぜか？ なぜなら、今あなたは、世の救い主の御名を口にしたからです。ところで今や、彼らは、あなたを違った目で見ます。「お～、君もそのひとりなのか。まさか、聖書でガツンと殴らないよね？」「いいえ、今はアプリがありますから。私はそれを使います。」—(笑)— 失礼。あなたは拒絶されます。なぜか？ イエスが故です。驚かないでください。おかしいとは思わないでください。その部分については、ペテロが教えてくれるので。おかしいと思わないでください。というか、なぜ驚くのですか？ 世があなたを愛するなら、、世は世を好むでしょう？ ですから、世から愛されているなら、それは問題ですよ。ヤコブ (4:4) は言いました。

「あなたがたが世を愛するなら、あなたがたは姦淫を犯している。節操のない者たちよ。世の友になることは、神に敵対することで、その逆も然り。神の友となれば、世に敵対する。」なぜ拒絶されて驚くのですか？ それは、名誉の印です。「私は拒絶された。お～それはどうもありがとうございます。それを書面でもらっていいですか？ 私は神に選ばれた者ですから。良い証明になります。」「マタイの福音書 5 章」はどうですか？ あまり時間をかけられませんが、10 項目ありますから、午後 3 時までには終わります。—(笑)— 「マタイの福音書」のイエス。皆さん、よくご存じですね。繰り返しになりますが、牧師達はこの箇所について話すのは好きではなく、説教するのも好みません。

「義のために迫害されている者は幸いです。」(マタイ 5:10)

それなら、たぶん私は対処できるかもしれませんが、イエスは続けて仰います。「人々があなたを侮辱するときでさえ、あなたは幸いです。彼らがあなたにそうするとき、大いに喜びなさい。」私は、そんなことされても、喜べません。そういうことをされたら報復し、彼らを SNS でブロックします。でも、それは.....先走りすぎですね。2 つ目に進みましょう。これは大物です。すべて大物ですが。しかし、繰り返しますが、これは、あなたが迫害を受け、拒絶され、世の敵である時、キリストにあるあなたが何者かを思い起こさせます。キリストにおいて、「あなたがたは安全で守られている」私はこれを思い起こす必要があります。なぜなら、そう、戦いの真っ最中で、相手が迫ってきているとき相手はあなたに何もできないのを思い起こす必要があります。あなたは安全で、守られています。この一節の重要性を強調してもしすぎることはありません。この 6 節、「キリストを尊い要石に据える」このことについては、後ほど少し詳しくお話ししますが、イエスは、私たちの救いの堅固な岩、尊い要石です。私は、動かされることは

ない。私は人を恐れませんが、私を殺せすことができる者を恐れず、私は、私を地獄に投げ込むことのできるお方を畏れます。私は誰を恐れますか？ 人が私に、何をできるでしょう？ 私がキリストの中にいるならば、私は安全です。あなたが私を憎み、侮辱し、迫害し、拒絶し、好きなように攻撃できますが、私は守られています。私は安全です。時に、私たちは、それが起こると脅威や恐怖を感じることがあります。「もしも、、、もしも、、、」と。もしも、、、というのは知ってますよね？ そんな霊的な目で私を見ないでください。皆さんもするじゃないですか。ちなみに私はその道のプロです。もしも、、、の博士号を持っています。つまり、恐ろしいシナリオを作り出すのです。あの～もしも、、、なんだけど.....もしも、こうなったら、もしも、ああなったら、そうすると、恐怖心や不安感に襲われるようになるので、思い起こす必要があります。「ちょっと待って。イエスが私の尊い要石だ。イエスは私の救いの岩です。」「マタイの福音書7章」に、建築家のたとえ話がありますね。建築家が二人いて、一人は岩の上に、一人は砂の上に建物を建てます。もしも、、、でなく、その時、迫害の嵐が襲って来る時、岩の上なら大丈夫です。砂の上なら、大丈夫じゃありません。倒れます。なぜか？ 岩の上でないからです。安心ではありません。安全ではありません。さて、これが3つ目、7節と8節に結びつきます。これを覚えておいてください。「あなたがたはイエスと繋がっている」当時の柱石や建物の石を比較しても現代では、理解されないと思いますが、これは非常に強力な原理であり真理です。当時は、建築物に使われる石はすべて、第一柱石につなげて測らなければ、建築できなかったのです。建築しようとしても、できないのです。いしずえの要石と繋がってなければならなかったのです。全てがいしずえに繋がって配列されなければなりませんでした。それがイエスです。あなたはイエスと繋がっています。そして互いが、生きた石として建て合わされるのです。私たちは、建物として、その石材として、いしずえの要石に固定され、安全に繋がっているのです。イエスを頭とする、キリストの体です。それは、いしずえの要石、イエスに繋がり、石で立て上げた建物です。では、もっと現代的な言葉に置き換えてみましょう。時に、名前を出して言うことがありますよね。「私には、良いコネがあります。」「お～！」「そう、コネがあるんだ。知り合いなんだ。」「それはかっこいい。」「私もです。」「私が、誰とコネがあるか知っていますか？ 名前を明かして欲しいですか？ 言いますよ。」「あなたにはコネがあるのですか？」「ええ、かなりのコネです。本当に凄いコネですよ。私はイエスと繋がっています。さあ、話そう。話をしましょう。」「私は、偉い人と知り合いなのです。」「ええ、そうなのですか？ はははは。私もです。」「この方法でやってみます。お付き合いください。私の為に祈ってください。臨床名があるのは分かっています。直通電話がある、とか言うじゃないですか。「私はいつでも電話できますよ。」「すごい！感動するね。私はふさわしくありません。」「ええ、私もです。留守電だったことありません。手前で秘書を通す必要もありません。直接繋がります。私は、いつでも自由にアクセスできます。神に。さあ、話しましょう。」「あなたと繋がっているのは誰ですって？」嫌味を言うつもりはないんです。嫌味を言う必要もありません。自然にそうなります。ありがとうございます。でも、みんなが自分に敵対しているとき、励みになりませんか？ あえて言うなら、私たちは今、本当に酷い時代に生きているのではないですか？ しかも、未信者だけでなく、クリスチャンの教会でもそうです。つまり、すべてが、誰もが誰かに敵対しています。私にはコネがあります。繋がっています。大変高い地位の人を知っています。実際、その方は最も高いところにおられます。私はその人に話します。実は先週、それをしました。私はただ.....コネあり、とても高い地位にある人を知っているので、彼に電話して言ったんです。「神様.....痛い！」「ええ、知っています。」「助けてください！」「助けます。助けています。」「ありがとうございます。」願わくば、私たちが、そうしますように。古典的な、時代を超えた昔の賛美

歌を思い出します。

一いつくしみ深きー『イエスと友になれるなんて。私たちは無駄な苦しみを背負うけれど、私達には背負えないから何もかもを祈りでイエスに委ねる。』

私たちは、自分自身を奪い取って、敵がイエスへの自由なアクセスを妨害していると思います。私たちがしなければならないのは、イエスを呼び求めることです。私は誰を見上げればいいのでしょうか？ 私の助けはどこから来るのか。高い山や、丘から来るのでしょうか。いいえ、主から来るのです。(詩篇 12: 1-2 参照)

なぜなら、私は繋がっているからです。私はそれが好きです。ただそれが好きです。もう一度言います。

「私は繋がっています。私にはコネがあります。」

4 丁目、9 節です。本当に必要な注意喚起です。「あなたがたは闇の光です」これは、いくつかの理由で興味深いのですが、私たちは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民であることはもちろんですが、それだけではありません。私たちは神のものとされた民でもあります。待ってください。選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民。あなたの問題って何でしたっけ？ (会衆：何でもありません。) そう、良い答えですね。待って、もし私がそうなら、そうですが、神が私を闇から素晴らしい光に召してくださった事実によって、神への賛美も宣言します。よくお聞きください。光が一番輝くのはどんなときでしょうか？ 暗い闇の中です。言い換えれば、私の光は、私が最も苦しんでいる時最も明るく輝きます。これについて、ちょっと考えていたのですが...さっと言います。「スミルナの教会」黙示録 2 章にある迫害された教会です。7 つの教会が記されていますよね？ スミルナとフィラデルフィアは、7 つの教会の中で、イエスがヨハネに手紙を書かせられた際、イエスからの叱責を受けなかった教会です。イエスは彼らを励まし、強めようとしておられました。フィラデルフィアの教会に仰います。「あなたがたには少しばかりの力しかないのを知っています。踏ん張るのです。わたしはすぐに来る。すぐに来るから、踏ん張りなさい。あなたがたはわたしのことばを守り、わたしの名を否まなかった。踏ん張りなさい。」(黙示録 3: 7-8)

「スミルナの教会」は、とても興味深いです。ちなみに、名前は性質を表します。フィラデルフィアは、兄弟愛のことで、ギリシャ語ではフィリアです。ギリシャ語は、愛を表す言葉が複数あります。フィリアは、兄弟愛です。スミルナとは、没薬、苦いハーブで、砕くと壮大な香りを放ちます。皆さん、私が言おうとしていることわかりますか？ 一番壮大な香りが放たれるのはいつですか？ 砕かれたとき。迫害されているときです。私の光が一番輝くのはいつですか？ 暗いときです。光が輝くのは、闇が暗ければ暗いほど光は輝きます。小さな常夜灯について考えてみてください。0.00002 ワットくらいです。センサーもついてますよね？ 皆さん、こんなことしませんか？ 私はしますけど。言っておきます。臨床名があることは分かっています。昼間、点けてみたいので、センサーを指で塞ぎ、センサーを騙し、欺くんですよ。暗いと思わせて、ライトを点灯させるんです。センサーに指を置くと...。なぜ皆さんそんな目で見られるのですか？ やったことありませんか？ ノリを合わせてくれませんか？ そこで、センサーを指で塞ぎ...晴れていて、とても明るい日です。まだ暗くないから点灯しません。だからセンサーを塞いで、点灯させるのです。でも、明るすぎて、あまり見えないんですよ。さて、午前 2 時、私が起きて 8 回目のトイレに行くとき...お気遣いなく。余計な情報ですから。既に点灯していて、とても明るいのです。同じ 0.00002 ワットの電球ですよ。しかし、今は大変暗いので、とても明るいのです。それが私たちです。迫害に苦しむ私たちです。その時こそ、私たちの光は最も輝くのです。聞いてください。これが私が思いつい

た最高の例えですから、もっといいのがあったら教えてください。5つ目、またまた大物です。10節、「あなたがたは憐みを受ける者」神について最も見落とされ、過小評価されている真理の一つは何かと聞かれるなら「憐れみ」でしょう。その理由を説明します。自分が主から受けている憐れみを完全に把握したとき、すべてが変わります。迫害に対する見方が変わります。私を迫害している人たちの見方が変わるんです。言い換えれば、救われる前の私は、神の民に対して世間並みに無慈悲でした。しかし今は、神の民として、私は憐れみ深いです。「ルカの福音書 7 章」だと思えます。間違っているかもしれませんが。いつも文脈から外れたことを特に、テレビに出てる人たちは言います。私はもうテレビは見ませんし、皆さんも見ない方がいいですよ。彼らが言うのは、「そう、あなたが与えれば、神は返して下さる！！！」と押しつけ、皆を揺さぶり、盛り上げます。わお～。。問題は一つだけ。イエスは、お金の話をしておられるのではありません。イエスは憐れみの話をしておられるのです。あなたが憐れみ深く、憐れみを与え、憐れみを示すと、憐れみがあなたに示されます。押し込み、詰め込み、入れ込もうとすれば、溢れてこぼれます。それがあなたを量る秤になります。(マルコ 4:24 参照)

祈るとき、私はいつもこう祈ります。「神よ、私に憐れんでください。私に憐れみをください。」実は何年も前から使い始めました。時に、何と言う事？みたいな反応があるじゃないですか。それで、置き換えたかったんです。ですから私の言葉は「憐れみ」でした。本当に良い反応でした。憐れみ。「お～憐れみですか？」私は憐れみを祈ります。私が憐れみを祈ると、神は仰います。

「ちょっと待ちなさい。わたしはあなたに憐れみを示したいけれど、あなたが示した憐れみに比例して憐れみを示すのですよ。」ですから、神が憐れみをかけてほしい人がいて、いえ、私はそう望まないけど、、、いやいやそれは事実じゃありませんね。簡単にはいかないから、ここは気をつけないといけませんね。今、こうして話していると、ある人のことが頭に浮かんできました。でもね、私は彼らのために祈ります。

「神よ、彼らをやってしまってください！」そして思います。「お～、これってあなたが神にしてもらいたいことなの？」「いいえ、私は私に憐れんで欲しいのです。彼らをやってください。でも私には憐れんでください。」そういう仕組みではありません。「あなたはわたしに憐れみを求めました。わたしはあなたに憐れみを与えますが、あなたは彼らを憐れむ必要があります。」繋がるのを願います。これはデカイですよ。それが武装を解除し、攻撃を防ぎます。言わば、迫害を。イエスがこう仰ったのはこのためです。「あなたの敵、あなたを利用し、迫害し、侮辱する者のために祈りなさい。」(マタイ 5:44 参照) 私は彼らのために祈りますよ。ええ、ちゃんとね。ええ皆さん、私が言っている事をよく分かりますよね。

「彼らの歯をその口の中で折ってください。」(詩篇 58:6)

窒息するように。イエスの御名において。-(笑)- ちなみに、ダビデが祈っていたのは、そういうことではありません。そういう意味ではありません。そうはいかないですよ。私もしてみました、ダメダメ。逃げ切れません。しかし、あなたが祈り始めると、そう、こうなります。私があなたのために祈るなら、あなたに対しての私の心が変化します。あなたが誰かのために祈ると、その人に対する怒りや傷が長くは続かないからです。まあ、最初はちょっと荒っぽいかもしれませんね。祈り始めるとき、

「神よ.. (彼らを) どうか あ、、、憐、、、れんで、、、く~~~~「神よ.. (彼らを) どうかしゅ、、、祝、、、福、、、く~~~~」簡単にはいきません。しかし、あなたが、神に彼らを憐れみ、祝福して下さるよう祈り始めると、何が起こると思いますか？ あなたを変えます。突然、あなたはその人が祝福され、神が憐れみを示されることに投資することになります。すると、自分を変えるだけでなく、あなたを内側から変え、今やあなたが神の憐れみを受ける側になります。私たちは何気なく、簡単に言います。

「神の恵みは、私たちにふさわしくないものを得る事で、神の憐れみは、私たちにふさわしいものを得ない事。」それは正に正しいです。私は両方欲しいです。恵みと憐れみの両方が欲しいです。しかし、私がそれを望むからと言って、恵みと憐れみが示されるわけではありません。恵む側に立つ。憐れむ側に立つ。ほら、あなたを侮辱し、偽りの告発で攻撃し、迫害するその人は、キリストのもとに来る前のあなたです。彼らを憐れみなさい。実際に今からもっと見ていきますが、これから 11 節と 12 節からは一転します。

「私たちが何者であり、迫害に対してどのように生きるか」

それは、迫害に直面した時、キリストにある私たちが何者なのかを思い起こさせます。では、迫害に対して何をし、反応するか、どう生きるかについてお話ししましょう。ここでペテロが、良い行いと敬虔な生き方を私たちに勧め、励ますのは、彼らが私たちを、私たちの良い行いを、敬虔さを見て、人々が神を褒めたたえるためだからです。さっとこれを共有します。時間はあると思いますから、手短にします。→有名な最後の言葉ですね。何年も前、私は営業職でした。営業仲間で、私がクリスチャンなのを知っている人がいました。その男は、朝起きて、絶対私をやっつける方法を考えていた筈だと断言します。いえ、彼はそうしました。つまり、彼は私の顧客と手数料を盗む。ええ、本当です。そして私は彼のために祈りました。う”～～ いいえ、実は神が彼を救ってくださるよう祈りました。これが2、3年続きました。そして、彼はやがてシアトルに移り住み、私はこんな感じでした。「主よ、私の祈りに答えて下さり感謝します。主を褒めたたえます。」—(笑)— まあそう慌てずに。それから数年が経ち、私たち両方が、この会社を辞め、私は自分の事業を始めました。ある日、車で走っていて、信号待ちで道の真ん中で渋滞させている車があって、高速道路に乗るランプを塞いでいます。私は、「おい、何をやっているんだ？」

それでその車を追い越して、ええ、イエスの御名において、彼を睨みます。そういう人には常に睨まないとね。—(笑)— その人を追い越して走ると、突然その車が後ろをついてくるのが見えたんです。「何なんだ？」という感じです。私は彼に何も言ってませんよ。指とか見せたりしてませんし。「なぜ追って来るんだ？」—(笑)— 失礼。それで、彼はライトを点滅させて私に止まるよう言うんです。「あ～構わないよ。」それで、私は車を止めます。「やってやろうじゃないか。イエスの御名において。」—(笑)— 分かる筈ありません。その男と長年会っていません。分かる筈ありません。その車から降りてきたのは、あの男です。私は、「嫌だ!!! やつが戻ってきた～～！」—(笑)— それで、敬虔なクリスチャンの私は、窓をほんのちょっとだけ開けました。—(笑)— 彼は私を見て、頬から涙を流していました。彼は私にこう言いました。

「シアトルに帰る高速道路に乗る前に、君に会う機会があるよう一日中祈っていたんだ。私はイエスに人生を捧げたことを君に伝えたくて、あちこち探していたんだ。」ふ～～～「本当に？なぜそんなことをしたんだ？君は全てを滅茶苦茶にしたんだぞ。マジで？」そんな反応はしていません。窓を全開にし、車から降り、私たちは抱き合いました。そして彼はこう言いました、

「私はスポーケンに戻るんだ。(当時スポーケンにいました) 今度、君と奥さんと、私と家内とで夕食に行きませんか？」それで私たちは夕食に出かけました。夕食の時、彼が何と言ったと思いますか？彼は言いました。「JD、一緒に仕事をしていた頃、いつも朝起きるとね、、、」—(笑)—「やっぱり！そうだったよ。」—(笑)— 彼は言いました。「私は君を見てたんだ。私は君が本物かどうか確かめたかったんだ。私は、君がどう反応するかを見たくて、わざとそうしてたんだ。私はこんな感じです。「どう答えたらいいんだろう？」なぜなら、自分が心の中でどう反応していたか知っているからです。彼は言いました。「いや、君は、君の反応は、、、私は君を見ていたんだ。君の勝ちだった。君に心を奪われた。」

当時、私たちが一緒に仕事をしていて、2回～3回流産を経験したと思います。そして彼は、私が打ちひしがれていて、非常に傷ついていて、それでも神を信頼しているのを見ていました。彼は言いました。

「そんな中で、私は君を見ていて、君が揺るがないのが分かった。そして私は自分に言ったんだ。彼が持っているものが欲しい。」

なんということでしょう。その内のいくつかしなくて良かったと思います。しかし、これが2つ目の、どう生きるかに繋がります。13節と15節、

「正しく、従順に生きる」

さて、ここでペテロは、さらに一歩進んで、私たちが不当に非難し迫害する者を黙らせるため、法を守るよう勧めています。これは、律法や当局が、私たちが神の御言葉の律法に背かせていないことが前提です。しかし、私たちは国の法律を守る遵守者であるべきです。正しく、従順に生きることが必要です。

そしてこれが16-18節と結びついていて、

「謙虚に、きちんと生きる」

「ミカ書6章8節」だと思います。

—ミカ 6:8—

「人よ、何が良いことなのか、主があなたに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し（憐れみ）、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。」

この3つです。この聖句は、従業員が雇用主に対して従い、敬意を払うという文脈と理解するのが良いと思います。なぜなら、この時代のローマは、主人には奴隷がいたことを理解しなければなりません。

しかし、もしあなたがクリスチャンで奴隷なら、主人の心を虜にできます。なぜなら、これは真実ですが、奴隷市場では、非キリスト教徒より、キリスト教徒の奴隷の方が高く売れました。なぜか？ 彼らが優秀な働き手だったからです。彼らは従順で、働き者でした。彼らは尊敬に値し、謙虚でした。彼らは憐れみ深く、正直でした。それで、主人たちはクリスチャンが欲しかったのです。現代の私たちの理解に照らし合わせると、どうでしょう？ 私たちってそれと同じでしょうか。クリスチャンはその会社で一番良く働く社員であるべきです。クリスチャンがあるべき姿は、文字通り、雇用主から盗むという話ではありません。神が禁じておられますよね？ しかし、クリスチャンは、雇用主の時間を奪うようなことはしてはいけません。「お～、私は主の証をしていたのです。」それは主を敬うことではありません。あなたは会社の時間にいるのです。あなたは、最も誠実で、最も尊敬に値しなければなりません。このことについて、これから説明していきます。すぐに色々なことが分かるので、そういうことをしておいた方がいいです。でも、上司のことをブツブツ言うようでは絶対ダメですね。何を話してるか分かりますね？ あれやこれやと文句を言い、「こんな労働条件は受け入れられないぞ。」ダメです。あなたがクリスチャンなら敬意を表し、言いなさい。「神は給与体系の不公平さを全て分かっておられます。労働条件について、神は全てご存知です。」そして、ここが闇の中であなたの光を輝かせる所です。ここで砕かれると香りが放たれ、人々があなたに注目します。「あなたは違いますよね。」とにかく、そう言われます。—(笑)—

「あなたは本当に違っていますよね。」自分が違っているのは分かっています。「でも、あなたには何か特別なものがある。あなたは特殊な人で、他の人たちとは違っています。彼らのような話し方をしないし、彼らの使う言葉も使わないし。あなたの言葉は健全で純粋で、あなたの言葉は善良で、あなたは正直です。どうしてなの？」「お～尋ねて下さりとても嬉しいです。よくぞ聞いてくれました。」

これが19-22節の4つ目に密接します。「立派に模範的に生きる」もう少し詳しく説明します。これは、

ペテロが前の節で書いている私たちが他の人たちへの良い、敬虔な模範となることに関連します。イエスが究極の模範だと参照しているのは、人々が私たちの生活も見ているからです。使徒パウロは、私たちは生きた書簡、手紙だと語っています。(II コリント 3:2 参照)

人々は、私たちのクリスチャン生活を手紙のように読みます。彼らは何を読んでいるのでしょうか？ 何を読んでいるのでしょうか？ 私は良い例でしょうか？ 私はイエス・キリストの代理人ですから。皆さん認識していますね？ ある人がこんな風に言っているのを聞いたことがあります。最初はちょっと引いてしまいました。おおっ、そんなこと考えたことなかった。

「時に、クリスチャンはイエスの悪い広告塔になっていることがあると思います。」それって引きませんか？ 確かにそうでした。今もです。そんな風に思ったことはありませんか？ 私たちは、イエスの広告塔です。自分は良い広告塔でしょうか？ それとも悪い広告塔でしょうか？

「君たちクリスチャンはみんな同じようなもんさ。」以前にもお話したことがありますが、もう一度お話しします。私の心の声を聞いてください。しかし、悲しいのが、私は牧師になってミニストリーに入る前、長年ビジネス界で仕事をしてきました。悲しいことに、私の経験ではクリスチャンよりノンクリスチャンの方が、実際に良い取引ができました。それは私にとって本当に悲しいです。ノンクリスチャンがクリスチャンより信頼されるのは悲しい時代です。もう一步踏み込んで、再度、私の心の声を聞いてください。私の経験では、ノンクリスチャンよりもクリスチャンからひどい扱いを受けたことがあります。それは悲しいことです。本当に悲しいです。ソーシャルメディアに関して深入りしません。よく話題に出しますが、もう皆さん分かりますよね？ しかし、あなたがソーシャルメディアに何かを投稿し、人々が見て、あなたのプロフィールには、「私はイエスを愛しています」とあります。「へ？あなたはイエスを愛しているのですか？ あなたのアカウントってハッキングされてませんか？ これは何です？」

悪い広告塔。悪い模範です。ペテロが詳しく説明していますね。

「罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。」あなたはそれに値します。でも、義のために苦しんでいるときは、違います。自分が招いたことで、自分が経験するのは誉れになりません。しかし、もしそれが義のためであれば、称賛に値します。当然ながら、私が悪い証人だからといって攻撃されたくありません。攻撃されたいのは、、あ～頼み事は慎重にしないとね。私が攻撃されるのは、“もしも”、じゃなく、“される時”、自分が攻撃されるときは、義のために行ったから、攻撃されたいです。なぜなら、私はイエスの良い広告塔だったから。それから、実は、さっと言いますが、こんなことを考えていました。これは聖霊だと思います。私の友のように、聖霊が働いて下さってるのが分かるので、人々にそういう反応をしてほしいです。私が苦手なのは、ただひたすらあなたを褒めて、持ち上げるような人です。「はいはい。私は神を信じますって。」「そんなでは、どこにも辿り着けません。ダメ。議論を始めましょう。私を攻撃してください。そうすればあなたの中で何かが動くのが分かるから。それを聖霊と呼びます。聖霊からの罪の示しです。これで私たち、話ができます。」

とにかく、、最後の一つです。中には「イエス様、ありがとう。」と仰る人もおられますね。-(笑)-
23-25 節、「義のために生き、(そしてここで再度) 憐れみ深く」

これが大好きです。理由は、兄弟姉妹の誰それと自分を比べたりはしません。まあ、私って彼らほど酷くないからね～。それってかなり低いハードルですね。実はそれはハードルが低いのではなく、ハードルがありません。ええ、頼みますよ。まあ、少なくとも私は、兄弟の誰それや、姉妹の誰それほど酷くはありません。いいえ、そうじゃない。計り縄、リトマス試験、ハードルはイエスです。さあ、困りましたね。

イエスが不当に、間違っ、偽の告発で、十字架にさえかけられたとき、何が起こりましたか？ イエスが殴られて、顔も分からないほど殴られたのですよ。イエスのご反応はどうだったでしょう？ そうされて、ピラトの前に連れて来られたとき、ピラトは啞然としました。今まで見たこともないほど酷い扱いをされていたから。お～、彼はイエスの前に、殴り倒された多くの男たちを見てきましたが、イエスは違いました。イエスが連れて来られると、ピラトは言いました。

「この人を見よ。こんなの見たことがない。」

そして、イエスはここで、ご自分を守ってはおられません。イエスは唾を吐きかけられ、非難され、攻撃され、殴られます。何もされません。報復はされません。そして、主の御口からは何の報復のこんな言葉も仰いません。「おお、わたしはあの人に滅茶苦茶にされた。あなたがわたしを侮辱するなら、そうわたしを。あんたはどうなんだ？ 借りは返すぞ。」つまり、目には目を、歯には歯を、みたいな感じで。イエスがハードルを上げる話をされますか？ 皆さんその意味はわかりますね？ 誰かが私の歯をへし折ったら、その人の歯を全部折る。頼みますよ。歯1本に対して歯1本ではなく、そう、誰かが私の歯を折ったり、目を腫れあがらせたら、私は両目をやってやるぞ。仕返しをしたいだけでなく、打ちのめしてやりたい。イエスはそうではられません。イエスは違います。ここで、聖書の学びを締めくくりたいと思います。これは強力で深いこの原則を物語っています。

「何も反応しないことが最善の方法という事がよくある。」

自分を守るのはやめましょう。主にあなたを守って頂きましょう。主があなたの守り手です。自分を守ろうとすると、私たちは往々にして大きな間違いを犯すと思います。そして、ここで主は、

「OK。わたしがあなたを守ろうと思ったけれどあなたが自分自身で守ようだね。」

あなたは決して、絶対に、自分自身は守れません。お～実際やればやるほど悪くなりますよ。何のことか分かりますか？ 弁明しようとして、

「あ～これは間違っている。あなたは私に偽りの告発をしているよ。」すると、自分自身をさらに深みに落としてしまいます。そうではなく、主に委ねましょう。お～、魅力的なんですよ。

私はただ.....皆さんに、とてもオープンに言いますが、時にそれが人を不愉快にさせることもありますね。でも、私は皆さんと同じです。私が皆さんに似ていないのは分かってます。皆さんそれを、神を褒めたたえるべきで、でも私は皆さんと同じです。誰かが何かを投稿すると、、私の手が磁石のように、キーボードへ引き寄せられます。そして、火がつくんですよ、こんな感じで。「が」～～～！！おお！そんなのか！！」またはメールが届く。こんなことありません？ もちろんあるでしょう。皆さん、私と同じ罪びとです。そのメールを受け取ったあなた。どんなメールか分かりますね？つまり、あなたは返事を書いていて、聖句を引用します。聖書の引用しながら、です。-(笑)-

一度「送信」を押してしまうと、送信解除はできません。私は苦勞して学んでいます。学んでいます。またそれを証明する傷跡があります。その場の衝動で反応しないこと。あなたは必ず後悔します。ですから、誤ってテキストを押して、送信したりしないよう、念のため、別のファイルで行ってください。ちなみにテキストも送信取り消しやテキスト解除はできないですから。ご存知ですか？ 「送信」あ”っ～～～！ やっちゃった～～～！！！ なので、別のファイル、ノートでもワードでも、何でもいから、ページでも何でも「下書き」をするのです。もしかしたら、それで気が済むかもしれませんよ。そして、そのまま主へ送るのです。あなたは主の番号を知っています。覚えていますか？ あなたは主と繋がっているのです。主の番号を知っているのだから、主にテキストを送ってください。

「主よ、これはあなたのご承認に値しますか？」約束します。主は即、テキスト返信下さり仰います。「いいえ。」—(笑)—「これは送ってはいけません。送ってはいけません。」私は、送らなかったことを決して後悔したことはありません。私はいつも、送ったことを後悔します。だから、私がしていることをそのまま皆さんに話しています。もう少しで終わります。希望があります。「下書き」をします。

○□△×●■▲×○□△×(憤慨しながらタイピング)「保存」、「バックアップ」し、寝て、朝起きたら読んでみてください。ほ〜〜〜イエス様、感謝します。イエス様、送信しなかったことを感謝します。

お〜、なんとということ。これは恐ろしい。あなたは肉にあります。あなたは肉にあるのですよ。肉を満たしたいときはいつも、あなたは肉にいるんです。意味深なのは分かっていますが、事実ですよ。やり返してはいけません。むしろ、反応しないほうがいい。主にメールしましょう。主が対応してくださいませ。どうやって分かります？ 彼らがあなたのところに戻ってきて、道であなたを引き止めて、言う筈ないと。その相手にメールしていたなら、、、その全ての反応についてを考えます。う〜〜 きっと凄いいことになっていたでしょう。そうしなくて本当によかった。そうしなくてよかったです。主が対処してくださいませ。ちなみに、主はそれを対処下さり、埋め合わせをして下さいました。そういう事です。

ご起立ください。カポノは上がってきて下さい。祈りで締めくくります。わ〜、良い内容ですよ。

なんと！！ ペテロ、ありがとう。聖霊様、感謝します。主よ、感謝します。一拍手喝采— 私と同じように皆さん罪を示され、おそらくそうでしょう。もしそうでない場合、後でお会いしましょう。喜んで。とにかく、祈りましょう。

天のお父様、本当に感謝します。お〜主よ。主よ、あなたの御言葉に感謝します。とても実用的で適用でき、リアルで生々しくもあり、両刃の剣が、私たちのいる場所に正に届き、私たちのクリスチャン生活に住み着いている、何であってでも取り除くべき不要部分を、精密に、外科的に切り込みます。ですから主よ、そのことをあなたに感謝します。主よ、ここから先は聖霊が必要です。そうでないと、共に過ごした御言葉の時間が無駄になってしまい、決して誰もそれを望んでいません。だから主よ、迫害に直面しても私たちはこんな風だと言われるよう、私たちの人生を次のステップへと導いてください。そして主よ、感謝します。あなたの御名のために、あなたと繋がり、あなたのために迫害されることは名誉です。イエス様、感謝します。私たちはあなたをとっても愛しています。イエスの御名において。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7